

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 **東京多摩グリーンロータリークラブ**

1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第168回 例会報告 (4/6)

(花見例会)

司会者 SAA 橋口 洋三

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「国歌」「奉仕の理想」
 ソングリーダー 菊池 敏

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三

- | | |
|--------|----------|
| 由井 重光様 | (東京多摩RC) |
| 篠塚 武雄様 | (") |
| 古屋 誠児様 | (") |
| 有山 実様 | (") |
| 福井 孝様 | (") |
| 水野 晴行様 | (") |
| 高野 隆夫様 | (") |
| 柴 保様 | (") |
| 足立征三郎様 | (") |
| 小池 昭義様 | (") |
| 小川 一夫様 | (") |
| 伊藤 勝幸様 | (") |
| 小沢 守利様 | (東京稲城RC) |
| 秋山 裕造様 | (") |
| 松原 栄一様 | (") |
| 安田 政夫様 | (") |
| 成田 文忠様 | (") |
| 馬場 輝彦様 | (") |
| 伴 よし子様 | (東京港南RC) |

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

- 6月1日の多摩ロータリークラブ25周年記念式典には親クラブであることから、先きの理事会で全員登録ということで決定しておりましたが先日の例会にお見えになりました多摩クラブの篠塚様から、むりをしないでほしいというお話がありましたので全員登録を取消し、出来る限り多くの方に参加していただくということに改めましたのでご協力をお願いいたします。
- 本年度の事業で地域の人たちを対象としたシンポジウムの開催に対しカバナー賞を受けました。これに伴い、クラブとしても業績を挙げた委員会に対しクラブ賞を出そうということを検討いたしました。
- 多摩交通少年団の鼓笛隊発足に伴う協力について、当クラブには多摩中央警察署管内の交通安全協会会長の中山恒武会員がおいでになります。中山会員に協力するという意味も含めて、クラブから10万円、会員1人当り3千円程度のご協力を頂き25万円を目標に協力することを決定いたしました。

委員会報告

◆出席委員会 委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日 報 告	53	48	2	1	96.15%
前 回 訂 正	53	48	2	1	96.15%

メイクアップ

風間 茂穂 (小金井さくら)

田中 實 (小金井さくら)

欠席者 横倉 譲

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX 親睦委員 赤尾 恭雄

★★★★★★★★★★

由井重光様 皆様よろしく

有山 実様 お花見例会にお招きいただき有難うございました。松原さん機会がありましたらまたお手合せをお願いします。

馬場輝彦様 今日はお世話になります。

水野晴行様 お世話になります。

高野隆夫様 楽しいゴルフありがとうございました。

小川一夫様 ニアピンとれたと思ったら、上手がいるものでだめ

古屋誠児様 楽しいゴルフでした

柴 保様 初めてのメイキャップです。今後共よろしく願い致します。今日はありがとうございました。

稻城RC様 楽しく過ごさせていただきました。

北村 幸彦 花見例会に合わせたように花が咲きました。

伊東 巖 先日は結婚祝いありがとう。家族水入らず、いや夫婦久し振りの水入らずでしたので

関岡 俊二 3月17日52才の誕生日を迎えました。コーヒーカップありがとうございました。

小林 和夫 カゾクデ オセワニナリマシタノデ

橋口 洋三 花見例会なので
カミ様が誕生日祝を頂いたので

大熊 将夫 花見例会、天気で良かったですね。結婚祝のシャンペンありがとうございました。

赤尾 恭雄 恒例の花見例会、駆け足でやってきた満開の桜に囲まれ、大いに楽しみましょう。

藤本 吉文 桜も満開、今日は楽しいな
若林 滋和 桜、満開ですね。家族全員(5人)で来ました。

新海源四郎 最高の花見例会ですね。

海野 栄一 お花見例会に大勢のお客様をお迎えして

隅 耕造 春ランマン、最高の桜日和となりました。

吉沢 洋景 桜が丁度満開ですね。

遠藤 二郎 お客様ようこそ

津守 弘範 満開の花見を祝して

中山 恒武 お客様いらっしゃいませ、ゆっくりくつろいで下さい。

伊藤 英也 最高の花見日和

須藤 起雄 花がよく咲いています。どこでも

足立潤三郎 花見例会に大勢のお客様をお迎えして

橋本 幸夫 桜が満開です。親睦委員会の皆様ご苦勞さまです。

平野 行廣 天気は最高に良かったし、花は満開だし言うことなし

村上 久 花見例会を祝して

高村 弘 桜の咲き具合が最高です。

根本 奉守 静の冬より動の夏に向かっていっきに華麗な花を咲かせる桜の様にスッキリしたのでどごしの純米酒です。

萩生田茂夫 今のゴルフで多摩・稻城クラブの方に大変お世話になりました。

佐伯 和廣 春です、桜です、入学です。

松原 健 特にコメントなし

合計 125,000円

「昨今における警察事情」

多摩中央警察署長

直井 史生 様

多摩中央警察署長の直井でございます。

本日は、お招きをいただき誠にありがとうございます。このような席でお話をする機会を得まして、大変光栄に存じているところでございます。また、皆様方には、平素から当署の業務運営の各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。



昨年1年間の東京の犯罪情勢を簡単に振り返ってみますと、犯罪の認知件数は、約25万7,000件、戦後最高となりました。中でも強盗事件は、前年の30%増の約600件と過去26年間で最高の数値となっております。検挙件数は9万7,000件、検挙人員は6万5,000人で、検挙率は37.7%ということでありました。これらの数字は、いずれも平成に入ってから最高の数値となったのでありますが、とは申せ昭和63年の検挙率は50%を超えておりましたので、検挙面では相当の落ち込みと受けとめなければならないと思います。

次に質的な面からみますと、非常に特徴的な年であったと言えようかと思えます。先ず外国人による犯罪が、大変に目立った年でありました。これは、ここ数年の傾向ではありますが、昨年も不法滞在の外国人を中心とする外国人による犯罪、あるいは外国人が被害者となる犯罪、これが多発をいたしました。

昨年中の殺人事件に係る特別捜査本部事件は18件でありましたが、そのうち外国人が被疑者であったものが7件、被害者となったものが4件、被疑者も被害者も外国人というものが1件と、約4割が外国人がらみの事件でした。

平成5年10月末現在の本邦に入国した外国人は約319万人で前年同期と比べますと約17万人の減少となっておりますが、来日外国

人による犯罪は依然として増加しており、昨年1年間で約3,800人を検挙しておりますが、これは前年に比べて13%の増加となっております。来日外国人による犯罪の傾向を見ますと、1つは凶悪事件の増加であります。

先程申し上げました、特別捜査本部事件とは別に来日外国人による殺人事件が12件で、前年に比べ倍増しております。また、強盗事件が45%も増加しております。

国別に見ますと中国人が圧倒的に多く、80%以上を中国人が占めております。韓国、朝鮮、南北アメリカがこれに続いております。逆に、イラン人の検挙は40%以上減少しております。これはまさに、我が国が国際的に例外的な国ではなくなったということかと思えますけれども、我々にとりまして、こういう「外国人との係わりのあり方」という現実を厳しく突きつけられた、そういう1年であったかと思えます。

二つ目は、暴力団問題だろうと思えます。今まで暴力団と地域、街との係わりのあり方、あるいは暴力団と企業との係わりのあり方といったことについて、いろいろ議論がなされ、反省が行われ、そして改善が進められてきたところではあります。やはり種々問題点を指摘せざるを得ない、そういう実態にあったかと思えます。それが、昨年は暴対法の施行を機といたしまして、従前どおりではやはり社会が許さない。世間の目が厳しい、マスコミが剔抉をするというご時世に変わってきたということだろうと思えます。したがって、かなりその種の事件は減ってきたというぐあいに思いますが、しかし大きな事件もございました。幾つか例示をいたしますと、まず、何といても東京佐川急便事件でございます。

警視庁が捜査しましたのは、稲川会ルートという事件でございます。一千億を超す金が暴力団に流れていた事件でありますけれども、その内容、規模において過去に例を見ない事件であります。また、イトーヨーカ堂事件、これもご承知のとおり総会屋に対して、2,000万円を超す対策費を渡していたという事件でありました。また、キリンビールが住吉会系の総会屋に4,700万円を供与した事件では、会社側を4人、総会屋を45人検挙してお

ります。これも史上初の事件と言ってよろしいかと思えます。そして極め付けは、伊丹十三監督襲撃事件だろうと思えます。

言論の自由、表現の自由というものがあって我が国の今日の発展があったと言ってよろしいと思えますが、それを否定する行為を何と暴力団が行った。これは、まことに驚きに耐えないわけでありませう。そしてこの暴力団は犯罪行為を徹底的に否認するという裁判闘争を行っておりますが、これも以前にはなかったことであります。こういふことで、暴力団もある意味では追い詰められているといふことが言える、そういう年だったと思えます。さて、本年に入りまして犯罪情勢はどうかということですが、今のところは殺人を含めて凶悪事件の発生も昨年と同様の傾向であります。加えて我々が連続犯と申しておりますけれども、連続して発生する事件が頻発いたしております。連続強盗事件、連続放火事件、あるいは児童を対象にした連続傷害事件、こういった許しがたい犯罪が街頭で連続して起きております。また、余り報道には出ませんけれども、企業を対象とする恐喝事件も頻発をいたしております。

昨年同様、本年も不景気であるがゆえの犯罪というものが非常に目立つといつていい状況にあると思えます。しかしながら、私の見方ではありますが、どうも犯罪の発生の原由が違ってきているという感じがいたします。と言いますのは、これまでの、「バブル時代が忘れられない」、「従前維持してきた生活を継続したい」そういう欲求に起因するところの財産犯なり殺人事件というものが少なくなってきたのであります。この種の事件が昨年の場合、夏の時期位までは非常に多かったように思えます。しかし、後半からはそれが変わってきまして、本年に引き続いておりますが、それは本当に金がない、生活費稼ぎのため、あるいは更に言いますと、バブル時代に崩壊をしたそのバブルを補てんするための資金がないということで、私どもは俗に「崩壊バブル補填」と称しておりますけれども、そういう動機に基づく事件、これが多いいい気がいたします。

バブル時代というのは人の価値基準を大きく歪め、そして生活の基盤がふわふわしてい

たのだなということを感じさせたと思えます。それは、自然人に限らず法人である企業につきましても同様のことが言えるのではないかというぐあいに考えております。こうしてみますと、今日は、我々の生活の仕方、生き方というものを問われている、そういう年であろうかと思わざるを得ません。

さて、暴力団が今日どういふ動きに出てくるかということをございます。昨年1年は暴対法の施行によりまして暴力団排除の世論が沸騰いたしました。暴力団許さじ、暴力団とつながっているものも許さないという世論が形成され、そしてそれが徐々に力強いものとなってきたがゆえに、彼らは国民の厳しい目に包囲されました。そこへバブルの崩壊があつて、実質的な収入減がかぶさつてきたということでありませう。しかし、一部の報道にもありますように、彼らは今、何とか耐えようとしております。

あと半年、あと1年頑張ればまた景気も良くなるだろう。企業の脇も甘くなるだろう。世間の厳しい目もそう長続きはしないだろう。警察も疲れるだろうというその時期を待っている。これは、間違いのないところであります。

したがって我々は今こそが暴力団を許さないという世論を確固たるものとし、我々の取り締まり姿勢というものが毅然としたものであり、企業はもちろん国民一人一人が暴力団との係わりにおける姿勢を毅然としていただくべく頑張つていただきたいと考えております。

暴力団と総会屋の係わりについて申しますと、警視庁が把握している都内の総会屋は787名で、昨年と比較しまして86名減少しております。しかし、だんだん少数になりながら活動は活発化してきている。なぜかと言えば、やはりそこに暴力団が活路を求めてきているということでありませう。

先ほど申しました総会屋へ資金提供して商法違反で検挙した事件でも三つの総会屋グループは、いずれも暴力団と深く係わっている組織でありました。総会屋を即暴力団と考えてもおかしくない。そういう社会実態にあるということ念頭に置かれ、社会責任を全うしていただくことをぜひお願いしたいと思えます。

《お花見例会風景》



東京多摩グリーンロータリークラブ



会 長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
 幹 事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
 会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
 多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30